

<今年度最後の代表委員会がありました>

右写真のとおり、2月13日（火）に、今年度最後の代表委員会がありました。「どんなときもあきらめない、笑顔いっぱい福重小（児童会目標）」という年間で目指したい姿を、各学級でどのように取り組み、成長できたかについて話し合いがありました。「みんなが楽しめる遊びを工夫した」「朝の会で児童会目標をいつも確認した」「きつい時も励まし合って頑張った」等、素晴らしい意見が出ていました。



<工事> 「ながもの」車両出現です

先日から工事現場に見慣れない「ながもの」車両が出現しました。これは現場にコンクリートを流し込む「コンクリート圧送車」という車両だそうです。滅多に見かけない建設車両です。工事がまた新しい段階に入りました。



○学校評価について○

学校だより37号で、結果の概要についてお知らせをしましたが、この度学校評価の結果をお知らせする文書をお届けしています。この文書には、項目毎の分析と今後の課題について掲載しています。結果を踏まえ、もう少し思いを含めてあらためてお伝えしたいと思います。

(1) **良好** あいさつ等元気に表現する子どもの育成について

子どもの達成率が低かった項目です。児童は普段よりあいさつをがんばることについて指導を受けています。中には自身を振り返りあまりできていないと思う子どもおり、この点が達成率に表れているようです。逆に言えば、子どもたちがよく意識して取り組んでいることの表れだと考えます。

(2) **良好** わかりやすい授業の展開について

子どもたちが授業をわかりやすいと考えている点は大変嬉しいことです。大切なことは、わかりやすさ→正しい内容の理解へつながっているか、です。この点を大切にしながら授業作りを進めていきます。

(3) **良好** 安全指導に関することについて

災害に対する安全、日常的な学校生活における安全、交通安全等、安全指導はとても広範囲に考えなければならぬものです。福重地区は安全指導に関しては、保護者の皆様、地域の皆様を含めてかなり意識が高い学校です。特に「災害等安全教育」の項目は高い達成率であることからわかります。学校建て替え等もありますが、今後も必要な指導を欠かさずに進めていきます。

(4) **課題** くじけず最後まであきらめない子どもの育成について

児童、教職員、そして保護者の皆様の三者がいずれも90%に満たなかった項目です。児童会目標にまで反映させ、あらゆる教育活動の場面で大事にしてきたのですが、課題として残りました。簡単には折れない子どもの育成…とても大事です。次年度の指導のキーワードとして取り上げていきます。

(5) **課題** 言葉遣いについて

人権の問題として取り上げ、指導を重ねて来ましたが今一步です。来年度の重点課題です。

(6) **課題** 個に応じた指導の展開について

一人ひとりのお子様のことをしっかり見てほしい。大事にしてほしいという保護者の皆様の願いを感じます。学校としても、児童との信頼関係を作りながら、それぞれのよさをしっかり評価しながら今後も指導します。